

| 令和8年(2026年)度 年間授業計画(シラバス) |  |   |   |     |     |    |      |    |    |
|---------------------------|--|---|---|-----|-----|----|------|----|----|
| 学年                        | 2  | 学科  | 全学科   | 単位  | 2   | 教科 | 地歴公民 | 科目 | 公共 |
| 学習教材                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 東書 002-901 公共</li> <li>・公共 ワークノート</li> <li>・ニュービジョン 公共</li> </ul>  |   |   |     |     |    |      |    |    |
| 学習目標                      | <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養います。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のため、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、自国を愛し、その平和と繁栄を図ること、協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。</p> |   |   |     |     |    |      |    |    |
| 単元と学習内容                   |  |   |   |     |     |    |      |    |    |
| 1学期                       | 1部 「公共」のとびら<br>1章 青年期を生きる私たち<br>2章 他者とともに生きる人間としてのあり方<br>3章 公共的な空間における倫理<br>4章 公共的な空間における基本的原理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期の特徴と発達課題、及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間のあり方について理解するとともに、自己形成及び社会形成に主体的に参画することの意義について考察する。</li> <li>・現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解する。また、生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察し議論する。</li> <li>・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。また、これらがなぜ公共的空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現する上での課題について考察する。</li> </ul>   |   |     |     |    |      |    |    |
| 2学期                       | 2部 自立した主体として社会に参画する私たち<br>1章 民主政治と私たち<br>2章 法の働きと私たち<br>3章 経済社会で生きる私たち   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について民主政治の実現の観点から理解する。</li> <li>・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解し、考察・表現する。</li> <li>・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。</li> </ul>           |   |     |     |    |      |    |    |
| 3学期                       | 4章 私たちの職業生活<br>5章 国際社会のなかで生きる私たち<br><br>3部 持続可能な社会づくりに参画するために<br>1 探究のイメージをつかもう<br>2 探究のプロセス   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における職業の特性の理解の上に、職業選択を自らの課題として考察する。また、労働と雇用にかかわる諸問題について考察する。</li> <li>・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・現代社会の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。</li> <li>・探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明したり表現したりする。</li> </ul> |   |     |     |    |      |    |    |
| 評価                        |  |   |   |     |     |    |      |    |    |
| 評価の観点                     |  | 到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕  | 評価のフィードバック                                    |     |     |    |      |    |    |
|                           |  |   | 1期末   | 2期末 | 学年末 |    |      |    |    |
| ①                         | 知識・技能  | 現代の諸課題を理解しているとともに、諸資料から、必要となる情報を適切に収集し、それらをまとめる技能を身に付けようとしている。  | ○   | ○   | ○   |    |      |    |    |
| ②                         | 思考・判断・表現   | 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察しようとし、自分で構想したことを表現しようとしている。  | ○   | ○   | ○   |    |      |    |    |
| ③                         | 主体的に学習に取り組む態度  | よりよい社会の実現に向けて、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。   | ○   | ○   | ○   |    |      |    |    |
| 評価方法                      | ①  |   | ②   |     | ③   |    |      |    |    |
|                           | ⑦定期考査<br>⑧小テスト<br>⑨ワークシート<br>⑩調べ学習レポート   | ⑦定期考査<br>⑧小テスト<br>⑨レポート<br>⑪グループ活動(討論・発表)<br>⑫学習の振り返り   | ⑦定期考査<br>⑧出席状況や提出物<br>⑨学習参加の仕方や態度<br>⑩学習の振り返り |     |     |    |      |    |    |